

大学等の研究者向け 検索エキスパート研修[中級(IPDL編)] 研修内容

日程	時間	研修科目	時間数	内容
第1日目	10:30 ～ 17:50	開講式 オリエンテーション		
		特許法及び特許文献分類体系の概要	3	特許文献検索を行うにあたっての基礎となる特許法及び特許・実用新案審査基準についての解説及び特許文献を検索するFタームの体系についても解説する。
		先行技術文献検索理論	3	技術動向の把握のための特許文献検索や特許審査基準を考慮して特許性の判断に必要な特許文献検索を行う手法について、特許庁の特許審査手法のノウハウを織り交ぜつつ解説する。(注1)
第2日目	10:00 ～ 17:00	先行技術調査演習	6	実際の特許出願を用いて、与えられた課題に対して研修生自らが、特許電子図書館(IPDL)を利用して特許性の判断に必要な特許調査を行う。講義を通じて習得した知識について随時、指導者に質問ができる環境下で実践する。
第3日目	10:00 ～ 17:40	グループディスカッション (班別 調査結果討論)	2	少人数の班を編制し、研修生それぞれが作成した特許調査の結果をもとに出願や審査請求をするかどうかの他、どのように発明を補充すべきかについて班別討論し、調査報告書を作成する。(注2)
		調査結果討議 (班別)	2	班別の検討結果の結論やどのような議論が展開されたのかをそれぞれ班別に発表・討議するとともに出願して審査請求した後に予想される特許庁からの応答とその対応について討論する。(注2)
		模範解答解説 (講師からのフォローアップ)	2	特許調査結果等を基礎として、特許文献検索を行う手法や対策について、講師から特許庁の特許審査判断のノウハウを織り交ぜつつ解説する。
		閉講式		

※カリキュラムの内容、時間配分については、諸事情により変更になる場合があります。

(注1) 検索エキスパート研修では、パテントマップの作成方法自体については扱いません。

(注2) 研修生の特許文献検索経験年数の分布等を考慮し、班編制を行わせていただきます。